

基山町地域福祉計画等策定 のためのワークショップ

報 告 書

平成 29 年 9 月

基 山 町

目 次

第1章 ワークショップの概要

1. ワークショップの目的.....	2
2. ワークショップの実施概要.....	2
(1) ワークショップ開催日時・場所.....	2
(2) ワークショップ参加者.....	2
(3) ワークショップのテーマ.....	2
(4) ワークショップの進め方.....	3

第2章 ワークショップ実践結果

1. 第1回ワークショップ実践・意見結果.....	6
(1) ワークショップの目標.....	6
(2) ワークショップの流れ.....	6
(3) ワークショップで出た各班の地域福祉問題.....	7
(4) ワークショップで出た課題のまとめ.....	12
2. 第2回ワークショップ実践・意見結果.....	13
(1) ワークショップの目標.....	13
(2) ワークショップの流れ.....	13
(3) 班別の具体的な取り組み.....	14

第1章 ワークショップの概要

1. ワークショップの目的

「基山町地域福祉計画」及び「基山町地域福祉活動計画」の策定にあたり、地域住民や地域福祉の担い手の方々に、地域福祉を取り巻く現状等について考えてもらうとともに、地域課題及び解決に関するアイデアなどについて意見を出していただくことで、今後の地域福祉施策の検討に資することを目的とする。

2. ワークショップの実施概要

(1) ワークショップ開催日時・場所

- 1) 第1回…平成29年8月26日（土曜日） 10:00～11:30
基山町民会館1階会議室
- 2) 第2回…平成29年9月9日（土曜日） 10:00～11:30
基山町民会館1階会議室

(2) ワークショップ参加者

回数	地域	西部	中心部	東部	けやき台	合計
	区名称	1・2・4	6・3・9・11・12	5・7・8・10	12・14・15・16・17	
第1回	実数	11	20	6	6	43
	構成比	25.6%	46.5%	14.0%	14.0%	100.0%
第2回	実数	9	11	5	6	31
	構成比	29.0%	35.5%	16.1%	19.4%	100.0%

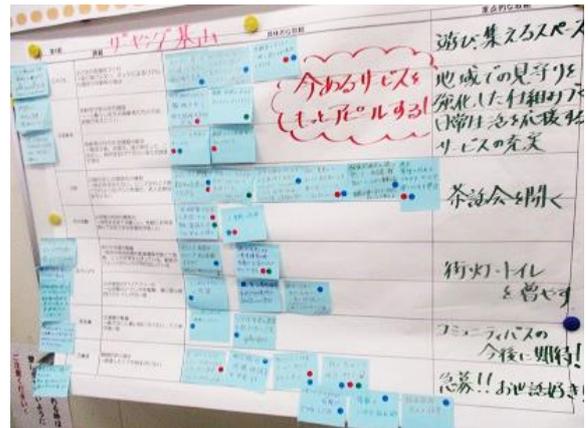
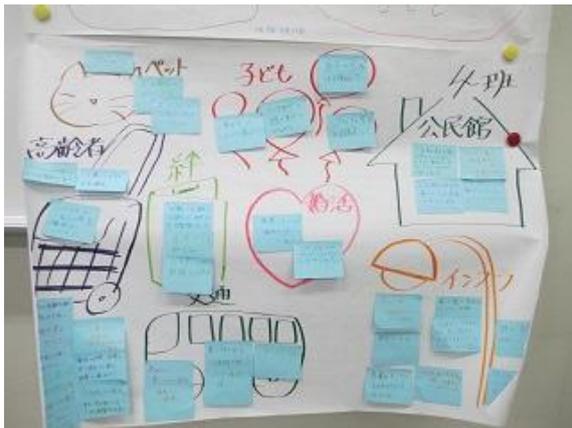
(3) ワークショップのテーマ

- 1) 第1回「地域における課題整理」
- 2) 第2回「課題に対して必要な取組みとは」

(4) ワークショップの進め方

本ワークショップでは、地域別に全5グループにわかれ、KJ法を活用して行った。また、各グループには基山町役場と社会福祉協議会の職員がファシリテーター(まとめ役)として参加した。

- 1) 基山町の「西部」「中心部1」「中心部2」「東部」「けやき台」の各地域別に全5グループに分かれ、簡単な自己紹介を行う。
- 2) 検討テーマについて(第1回は「基山町の地域課題について」、第2回は「地域課題に対する具体的な取り組みについて」)、意見やアイデアを各自「ふせん」に記入し、対話を進めながら模造紙に張り付ける。
- 3) 記入した付箋をグループ分けし、自由に意見やアイデアを出し合う。
- 4) 最後に、話し合った結果を全体に発表する。



第2章 ワークショップ実践結果

1. 第1回ワークショップ実践・意見結果

(1) ワークショップの目標

基山町の暮らしの中で感じる様々な「福祉」の困りごとや問題について、対話を通じて明らかにし、自分事として捉え、地域福祉への興味関心を持っていただく。

(2) ワークショップの流れ

時刻	内容
9:30～	【受付】
10:00～	【あいさつ】 ・ワークショップの趣旨及び目的を説明
10:10～	【ワークショップの説明】 ・ワークショップ全体の流れを説明
10:15～	【ワークショップ①】 ・「地域生活における困りごとについて」
10:45～	【ワークショップ②】 ・ワークショップ①の内容を課題別に整理
11:05～	【全体発表】 ・各グループで模造紙を掲示し、全体発表
11:25～ 11:30	【ワークショップのまとめ】 ・メインファシリテーターによるワークショップ全体のまとめ

(3) ワークショップで出た各班の地域の問題

■ 第1班（基山町西部）

地域生活における困りごと		課 題
① 高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ・車の運転が危ない ・交通の便が悪い（バスの待ち時間が長い） ・福祉サービスの利用方法が分からない 	<ul style="list-style-type: none"> ○ コミュニティバス等の交通の利便性の向上 ○ 福祉サービスの利用に関する情報の充実化 ○ 交通マナーの向上
② 一人暮らしに対して	<ul style="list-style-type: none"> ・安全安心して暮らせる町づくりをして欲しい（友愛活動や防犯活動の促進） ・どんなサービス、援助の仕方があるのか分かりにくい ・高齢者単身世帯の今後の増加が不安であり、また自身が一人暮らしになったときにどうすればいいか不安 ・買い物が不便 ・家族に連絡が取りにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友愛活動や防犯活動の促進 ○ 買い物の利便性の向上 ○ 高齢者単身世帯の孤立化防止
③ 世代間（後継者問題）	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや若い世代が減り、次の世代につなげていくことが大変 ・調整区域なので、若い人が住む住居に恵まれない ・農業の跡継ぎがいない 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 若い世帯に向けた移住環境の充実 ○ 後継者問題の解消（農家、地域の担い手等）
④ 教育	<ul style="list-style-type: none"> ・夜型の生活をする親の増加（朝食を食べて学校にいけない子どもや、朝ご飯を作れなかったり、起きれない親がいる） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもたちの食育の充実
⑤ 交通	<ul style="list-style-type: none"> ・通院するための交通手段が少ない ・今の基山町の交通網は免許返納や高齢者の増加に非対応ではないか ・巡回バスは、バス停までの距離が遠く、時間が合わない 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 通院手段の充実化 ○ 免許返納者に対する交通支援の充実
⑥ 環境	<ul style="list-style-type: none"> ・空家問題（あなぐま、さる、いのししがでる） ・雑草が道端にたくさん生えており、子どもの通学等を邪魔をしている 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 空き家問題の解消 ○ 生活環境の改善（除草等）
⑦ 災害	<ul style="list-style-type: none"> ・避難時の高齢者の移動方法が分からない ・町の緊急放送が聞こえない ・災害時の避難場所が区域によっては遠すぎる ・避難所の設置の連絡が遅い 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害時の避難方法・避難場所の周知・改善 ○ 災害時の高齢者の避難支援体制構築
⑧ その他	<ul style="list-style-type: none"> ・山間地区は地域の触れ合いが大切である ・地域福祉、地域での助け合い、ふれあいが必要である 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域住民のふれあいの充実

■ 第2班（基山町中心部1）

地域生活における困りごと		課 題
① 防災・安全	<ul style="list-style-type: none"> ・防災のサイレン・言葉が聞こえない ・高齢者の一人暮らしの方への災害時の共助の仕方が分からない ・子どもや若い世代の自転車運転マナーが悪い ・社協から園部団地へ行く道路の消防署から下った交差点が、子どもたちの下校時に危険 ・山間部の子どもの登下校時の見守りが不十分 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害時の高齢者の避難支援体制構築 ○ 交通マナーの向上 ○ 子どもの登下校時の見守り強化
② 健康	<ul style="list-style-type: none"> ・健康管理の仕方について理解し、筋力アップを目指したい ・健康維持について（維持できるか不安がある） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 健康増進の推進
③ 高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり暮らしと高齢者世帯で、何か困りごとがないか気になる ・行政組合や区の行事等の参加率が低下し、組合長の決定が高齢化で困難 ・公民館サロン活動に男性の参加者が少ない ・高齢者の組織（65歳以上）や老人クラブ等に参加する人が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 近隣住民との関係性の構築 ○ 公民館サロンの活動の充実（男性向け内容の企画） ○ 地域行事等の参加率の向上や負担の軽減
④ 子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・気になる子どもの対応の仕方が分からない ・子どもたちの遊び場が少ない ・登下校等に子どものあいさつが少なくなっている 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもたちの遊び場づくり ○ 子どもの見守り体制の充実
⑤ 地域	<ul style="list-style-type: none"> ・近所の関係が希薄化している ・高齢者の死亡、転出等による空家が増えたり、管理不足が多い ・ペットボトル、空き缶、たばこのポイ捨て等ゴミ捨てのマナーが悪い ・福祉は各世代に必要なだから、若い人の意見も聞きたい ・日々の相談やふれいあいの場所がない 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活環境の改善（建物の老朽化、除草・ゴミ捨てマナー） ○ 空き家問題の解消 ○ 多世代と交流できる、居場所づくり ○ 身近な相談窓口の充実

■ 第3班（基山町東部）

地域生活における困りごと		課 題
①施設・環境の不足	<ul style="list-style-type: none"> ・歩いて買い物に行こうと思っても、近い距離にお店がない ・若い人たちが楽しめる施設や広い運動場がない ・公民館やサロン以外に月に1・2回、4～6人で集まれる所が欲しい ・災害が発生して避難等となる場合の、受け入れ準備や手順等が分からない 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 買い物の利便性の向上 ○ 娯楽・運動施設の充実 ○ 身近な居場所づくりの促進 ○ 災害時の避難方法の周知
②高齢者へのサポート不足	<ul style="list-style-type: none"> ・集会場に來れない高齢者の方のサポートが分からない ・高齢者の方への寄り添い方が難しい ・10区の高齢化率が上昇している ・認知症のある方の対応の仕方が分からない 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 孤立リスクのある高齢者への支援 ○ 認知症の理解促進
③買い物の交通手段が手行	<ul style="list-style-type: none"> ・10区は小高いところにあるため、バスの本数はもう少し多い方が良い ・車に乗らず、徒歩で用事をこなすようになると腰を下ろせるベンチが欲しい ・買い物が大変である 	<ul style="list-style-type: none"> ○ コミュニティバス等の交通の利便性の向上
④情報・相談の仕方	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問対応の仕方を見直してほしい ・情報をどこで手に入れればいいのか分からない ・身近な悩みを相談しようとしても、どこに相談していいか分からない 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な相談窓口の充実・周知 ○ 訪問による相談対応の充実
⑤コミュニケーションの不足	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつや隣近所同士の声かけが少ない ・地域行事に若者の参加者が少ない ・高齢者や若い世代の間で会話が少なくなった ・ボランティア活動の参加者が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ○ あいさつや声かけ運動の促進 ○ 若者の地域行事参加率の向上 ○ 多世代交流の機会の確保 ○ ボランティア活動の促進

■ 第4班（けやき台）

地域生活における困りごと		課 題
① 子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・ ネット中心の生活になり、リアルな関係や体験等の経験が減っている ・ 子どもの遊ぶ場所が分からない ・ シニア世代と子育て世代のつながりの希薄化 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもの居場所づくりの推進 ○ 多世代交流の場づくり
② 高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ・ ひとり暮らしや夫婦2人暮らしの家庭が増え、安否確認がしづらい ・ マンション住まいは付き合いがないため、もしもの時が心配（転倒等） ・ 独居又は高齢夫婦の受診の付き添いが大変 ・ 老人会への参加者が少ない ・ ゴミ出し、電球の交換、衣替え、庭の草むしり等、用事を頼みたい 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者世帯への見守り活動の強化 ○ 高齢者の孤立リスク対策の推進 ○ 地域行事への参加の推進 ○ 生活支援の推進
③ 絆	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近所の人を知らないし、あっても話題がない 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 近隣住民との交流機会の推進
④ 公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気軽に座って休める場が欲しい（公民館に行くとかかしないといけないから） ・ 公民館の使用が厳したため、もっと茶飲み場として開放して欲しい ・ トイレがバリアフリーになっていない 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公民館の利用の簡易化 ○ 身近な居場所づくりの推進 ○ 施設のバリアフリー化
⑤ インフラ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夜が暗く、街灯が少ない（町内や町民会館の駐車場等） ・ 歩道が歩きづらい（レンガが浮き上がっている等） ・ 路上駐車がが多い 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 街灯・歩道の整備及びバリアフリー化 ○ 交通マナーの改善 ○ 共施設等へのトイレの設置
⑥ 交通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車がないと買い物に困る（交通手段がない） ・ バス停が遠い 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交通の利便性の向上
⑦ 婚活	<ul style="list-style-type: none"> ・ 結婚したいけど、相手が近くにおらず、マッチングの機会がない 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 独身世代の交流の場づくり
⑧ ペット	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近所の猫の鳴き声が気になる ・ 犬の散歩のマナーが悪い（フンを持ち帰らない等） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ペット飼い主のマナー向上

■ 第5班（基山町中心部2）

地域生活における困りごと		課 題
① 高齢化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 隣人の方々の高齢化により、今後が不安（役割、支え合い） ・ 高齢者の組織（65歳以上）や老人クラブ等に参加する人が少ない ・ 64歳以下と65歳以上のコミュニケーション不足 ・ 町民大会の会場は遠いため、各区別に分かれて実施して欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 近隣住民との関係性の構築 ○ 地域行事等の参加率の向上や負担の軽減 ○ 多世代交流の機会の充実
② 子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの数がすくなくなり、若い世代が基山から離れてしまう ・ 子どもクラブに入会しない家庭がある ・ 子ども100当番の家が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもの見守り体制の充実 ○ 子育て世帯への支援体制の充実
③ 隣人愛	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若い人や外国人等の行政への参加が少なく、組合外の人数が増加している ・ 隣保館に入らない家庭があり、回覧板が回らない ・ 近くに相談する人がおらず、隣近所との交流が少なくなっている ・ 新しい住民の方たちとの交流がほとんどない 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 近隣住民との交流機会の促進 ○ 行政組合加入の促進 ○ 転入者との交流機会の促進
④ 生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通手段がなく、店も近くにないため、免許返納後が不安 ・ 子ども食堂的なものが欲しい ・ 建物が老朽化し・街灯も少ない ・ 空家が増えている 	<ul style="list-style-type: none"> ○ コミュニティバス等の交通の利便性の向上 ○ 免許返納者に対する交通支援の充実 ○ 生活環境の改善（建物の老朽化、街灯整備等） ○ 空き家問題の解消 ○ 買い物支援の充実 ○ 居場所づくり

(4) ワークショップで出た課題のまとめ

1) 健康・生活課題の改善

- ・住民全体の健康増進及び生活習慣の改善
- ・認知症に対する理解促進
- ・高齢者の生活課題の解消

2) 地域・ボランティア活動等

- ・次世代の地域の担い手の育成
- ・ボランティア活動の促進
- ・地域や行政区等の活動参加の促進

3) 居場所づくり

- ・子どもたちの遊び場・居場所づくり
- ・地域住民のふれあいの場の整備
- ・老人クラブ及び公民館サロンの利用率の向上

4) 交通・環境整備

- ・コミュニティバス等の交通の利便性の向上
- ・車の免許返納後の移動支援の充実
- ・交通マナーの向上
- ・買い物の利便性の向上
- ・空き家問題の解消
- ・街灯や歩道の整備
- ・生活環境の美化活動推進
- ・公共施設のバリアフリー化

5) 防災・安全

- ・災害時の避難方法の周知・改善
- ・通学路の安全確保
- ・高齢者や障害者等要援護者への安否確認の強化
- ・防犯活動の促進

6) 情報提供及び相談窓口の一元化、充実

- ・情報、相談窓口の充実化・訪問対応の拡充
- ・福祉サービスの利用方法に関する情報の充実化

7) コミュニケーション不足と関係性の改善

- ・隣近所等身近な住人とのコミュニケーション不足解消
- ・地域行事やボランティア等の参加率の向上
- ・多世代との交流の場の促進
- ・子育て世代と地域の関係構築
- ・地域における孤立世帯の解消

2. 第2回ワークショップ実践・意見結果

(1) ワークショップの目標

第1回で抽出した課題を再確認し、解決に向けて自分たちにできることを考え、地域福祉への興味関心を持っていただく。

(2) ワークショップの流れ

時刻	内容
9:30～	【受付】
10:00～	【あいさつ】 ・ワークショップの趣旨及び目的を説明
10:05～	【ワークショップの説明】 ・ワークショップ全体の流れを説明
10:15～	【ワークショップ①】 ・「地域課題に対する具体的な取り組みについて」
10:45～	【ワークショップ②】 ・「具体的な取り組み主体について」 ・取組主体は、本人・家族（自助）、地域（共助）、行政（公助）のそれぞれ誰かを検討
11:05～	【全体発表】 ・各グループで模造紙を掲示し、全体発表
11:25～ 11:30	【ワークショップのまとめ】 ・メインファシリテーターによるワークショップ全体のまとめ



(3) 班別の具体的な取り組み

■ 第1班（基山町西部）

課題		具体的な取り組み			重点的な取組
		自助	共助	公助	
高齢者・ひとり暮らし	福祉サービスの利用方法に関する情報の充実化			● 広報紙にもっと掲載する ● ガイドブックを作成する	サロンに参加
	買物の利便性の向上	● サロンにたくさん参加して情報を得る		● バス路線の充実化 ● スーパーの出張販売実施	バスの充実
	安全・安心に暮らせるまちづくり（ひとり暮らしの高齢者の孤立化、頼れる家族や知人が身近にいない問題等）	● ご近所同士で助け合う ● 包括支援センターとの声かけ	● ご近所同士地域サロンの実施	● 配食サービスの実施	地域の触れ合い
後世代間・	地域の担い手継承（行政区を担う若者の減少等）	● 高齢者と若年者との交流（ふれあいの場づくり）		● 住居の問題の改善 ● 企業の誘致	企業誘致
教育	子どもが朝食を食べ、健康に生活できる環境整備（保護者の夜型生活や生活習慣の乱れ等）		● 朝ごはんの大切さを伝える	● 朝ごはんを食べるくせをつける 食育	食育
交通	交通の利便性の確保（通院や買物に行けない、バス停まで遠い。本数が少ない、免許返納後の高齢者への対応等）			● 巡回バス運行経路の見直し ● バス駐車場所を増やす	コミュニティバスの運行経路の見直し
環境	空家問題の解消（あなぐまやインシンの民家侵入などの問題）	● 地域における住民と交流の活性化		● 空家入居者の確保 ● 空家リノベーション ● 空家を管理し、格安で貸す ● 空家窓口の相談先の周知	空家入居者の確保
	子どもの通学路の環境整備（雑草が道端に多く生えている問題等）		● 部落で話し合う ● ご近所で草刈りできる方で助け合う	● 歩道を広める ● 道路整備	地域で話し合い 助け合い
災害	災害時の対応方法の見直し（高齢者への対応方法、避難場所が遠い、緊急放送が聞こえない、避難場所の設置連絡が遅い等）			● 防災無線が聞こえてくるようにする ● 消防署広報車の速度をゆっくりにする	防災無線が聞こえるようにする

■ 第2班（基山町中心部1）

課題		具体的な取り組み			重点的な取組
		自助	共助	公助	
防災・安全	防災時の安全性の確保（防災放送が聞こえない、高齢者の支援又は助け合い）		<ul style="list-style-type: none"> ●隣近所に呼びかける ●警報がなった時の呼びかけの人を決める 	<ul style="list-style-type: none"> ●民生委員を協力員に指名し災害時支援者として制度化する ●防災無線のスピーカーの数を増やす 	防災無線の改善と呼びかけ人数の増加及び実施
	子どもの通学路の安全確保（事故が起こりやすい場所がある、見守りが不十分である、あいさつが少ない等）	<ul style="list-style-type: none"> ●各家庭であいさつを行うように指導する ●見守り人員を増やし、気になる子には声をかける ●学校関係者と地域の保護者で通学路の点検を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ●防災無線のあと、地区の放送でも再度行う 		
健康	健康管理及び維持向上		<ul style="list-style-type: none"> ●各地区で定期的に体操教室を開催 ●近くの公民館でできる健康体操の実施 		各地区で体操やウォーキングなどを行う
		<ul style="list-style-type: none"> ●各地区で声をかけあい、ウォーキングをする ●公民館で早朝ラジオ体操を行い、その後交流会を行う 			
高齢者	地域や行政区の活動促進（運動会、河川清掃等の参加、組合脱退及び組合長の決定が困難）	<ul style="list-style-type: none"> ●河川清掃は業者に頼む 		<ul style="list-style-type: none"> ●町民運動会を室内に切り替える ●町民運動会のプログラムを改善する 	町民運動会の改善もしくは中止
	老人クラブ及び公民館サロンの利用率向上（全体の参加者及び男性ひとり暮らし世帯の孤立化）		<ul style="list-style-type: none"> ●男性も参加しやすいサロンを開催 ●公民館サロンとは別に、男性の参加意欲を高めるイベント企画 		
子ども	子どもたちの遊び場、居場所づくり（子どもたちの遊び場が少ない、気になる子どもがいた場合の対応方法がわからない）			<ul style="list-style-type: none"> ●キャッチボールできるような公園の増設 	キャッチボールできるような場所（公園）の確保
地域	隣近所との関係構築（関係が希薄化し、若い世代との交流の減少、高齢者世帯の孤立化問題）	<ul style="list-style-type: none"> ●公民館の囲碁将棋教室の再開 	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者と子どもが公民館で交流できる場をつくる 		公民館で高齢者と子どもが交流できる場づくり
	相談窓口や地域住民ふれあいの場の整備（相談場所が分からない、居場所がない、若い世代のワークショップ参加率が低い）			相談窓口の周知徹底	相談窓口の周知徹底
	空き家の整備（死亡や転居による放置空き家の増加）	<ul style="list-style-type: none"> ●空家を町が買い取り、リフォームして若い世代に売却 			空家を町が買い取り、リフォームして売却

■ 第3班（基山町東部）

課題		具体的な取り組み			重点的な取組
		自助	共助	公助	
施設・環境の不足	地域住民の居場所づくり（空家を活用した居場所づくりの提案、若者の楽しめる施設や運動場等の不足）			●公園の設置	地域と町で意見を共通し、公共施設を増やす計画立案
	災害時の情報提供の周知（避難等となる場合の受け入れ準備・手順等が不明）		●同じ組合の中で、避難時の連絡や声かけ・まとまり方の確認	●防災無線の改善	地域と町の連絡の役割分担を明確化
高齢者へのサポート不足	認知症の方に対する理解促進（認知症の方への対応がわからない）	●認知症で気になる方がいれば、民生委員に相談する ●認知症の方への訪問回数を増やし、よく話を聞く		●認知症の理解促進を図る学習会等の実施	認知症を理解する機会を増やし、興味がない人への参加促進
買物に行く時の交通手段	高齢者の方に寄り添い、繋がり強化（集会場に來れない高齢者の増加）		●地域へのサロン活動の加入を促す声かけ		地域での誘い合い
	買物に行く交通手段の確保（近い距離にお店がない、徒歩の場合腰を下ろせるベンチがない等）			●巡回バス停留所を増やす ●週に1度、時間を決めてスーパーから日用品を売りに来てもらう ●サービスを使っている人の声をお店に伝え、改善する	町、地域、家族がそれぞれ努力して周知に努める
情報・相談の仕方	情報・相談窓口の充実化・訪問対応の拡充（身近な悩みの相談及び、情報収集の場所が不明）		●出前講座での意識の変化を誘導する	●福祉サービスの広報の充実 ●地域包括支援センターや役場の関係部署の連絡先を記載した紙を配布	町の広報の強化
コミュニケーションの不足	近隣住民とのコミュニケーション不足解消（あいさつが少ない）	●自分からあいさつをする ●近所の老人や外出できない方に話しかける	●カフェの開設、茶話会の実施		家族、地域同士のあいさつを積極的にする
	地域行事やボランティア参加率の向上（若者を含め参加者が減少している）	●区行事参加の声かけをする			声かけと誘い合い
	多世代との交流の場の促進		●サロン活動や運動会に高齢者や子どもたちを巻き込めるようなプログラムの改善		多世代に向けて声かけ

■ 第4班（けやき台）

課題		具体的な取り組み			重点的な取組
		自助	共助	公助	
子ども	子どもの居場所づくり（遊び場が少ない、ネットによるリアルな関係や体験等の減少）			●雨の日や暑い日でも遊べる室内の遊び場を若基小校区に作る ●子どもの居場所にWi-Fiスポットを設置	遊び集えるスペース
			●高齢者も子どもと一緒に過ごせる場所を設ける		
高齢者	高齢者世帯の安否確認（一人暮らしをする高齢者の方の不安、課題が見えにくい）	●毎朝体調が分かる目印を出してもらう	●隣組を作り、共助を図る		地域での見守りを強化した仕組みづくり
	高齢者の方の生活課題の解消（電球交換、衣替え、庭の草むしり、ごみ出し、病院受診ができない等生活課題が増加）		●病院からの送迎を行ってもらう ●ワンコインお手伝いサービスの実施		日常生活を応援するサービスの充実
絆	近隣住民との関係性の構築（隣近所を知らない、シニア世代と子育て世代のつながりの希薄化、老人会参加率が少ない）	●日頃から、近所づきあいを意識する		●いつでも相談・利用できるようなサービスの情報の周知	茶話会を開く
			●子どもと高齢者の会食の開催 ●男性の外出を促すサービスの提供		
公民館	公民館の利用の簡易化（使用するまでが厳しい、気軽にお茶を飲んで交流できる居場所が欲しい）	●自治会費による茶話会を頻繁に開催			
			●小学校の利用の検討		
インフラ	街灯や歩道の整備（町内や町民会館の駐車場等が暗い、駅前のフェンスからツタが飛び出している）	●近隣住民による清掃の時に、公共の場所も当番制で掃除する		●街灯の整備（民家に光が入りすぎないように、角度やカバーを設置し、光の拡散を防ぐ）	街灯・トイレを増やす
	公共施設のバリアフリー化（公民館のトイレが未整備、基山登山者向けのトイレがない等）			●レンタルトイレの設置 ●トイレの案内板の設置（利用できる場所、協力店等の案内） ●公共施設のバリアフリー化	
交通	交通網の整備（車がないと買い物に行けない、バス停が遠い等）			●バス停以外での停車を検討 ●けやき台中央までのバス運行	コミュニティバスの今後に期待
婚活	婚姻件数の増加（結婚したくても相手がいない）		●若い世代を対象とした、夜間や休日のサークル（教室）の実施	●町民公認の結婚相談員を任命	急募！！お世話好き！
その他		●親も参加できる婚活事業を作る		●総合相談窓口の設置 ●町のブランドを推進した新たな雇用の創出	

■ 第5班（基山町中心部2）

課題		具体的な取り組み			重点的な取組
		自助	共助	公助	
高齢化	高齢者と地域の関係構築（老人クラブの入会率及び町老連の組織率の低下、若い世代とのコミュニケーション不足）		<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者の参加する居場所づくり ●男性中心イベントの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域団体、イベントの広報、人集め、実施支援の充実 	地域の集会を活発にする
	地域活動の参加率向上（町民大会の会場が遠い等）	<ul style="list-style-type: none"> ●町老連の管理・運営の負担軽減 ●サロン活動を幅広く伝える 	<ul style="list-style-type: none"> ●男性が参加しやすいサロン活動実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●町民大会プログラムの改善 	
子ども関係	子育て世代と地域の関係構築（子どもクラブへの加入率低下、子どもの減少）		<ul style="list-style-type: none"> ●親子で参加できる地域イベントの開催 ●子どもクラブの行事の活発化 		行政区単位での子育て家庭支援
	子どもの居場所づくり（子ども食堂の検討、子ども110番の数が少ない）	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども食堂や居場所づくり（公民館等）を実施する ●子どもたちに積極的にあいさつ、声かけをする 			子どもの居場所を作る
	通学路の安全・整備（幼稚園と小学校の間の道が狭く、自転車と接触しそう）	<ul style="list-style-type: none"> ●危険な場所のマップを配布し学校に配布 ●地域で交通安全教室を開く 	<ul style="list-style-type: none"> ●危険な場所にはポスターや看板を置く 		安全や挨拶を啓発する活動
隣人愛	隣保館や行政区加入率の向上（若い世代や外国人等の未加入率が増加）	<ul style="list-style-type: none"> ●転入者が行政組合へ加入しやすい環境づくり ●行政区未加入の方や新規入居者へ区に入ってもらおうよう勧める ●サロン活動を幅広く伝える 			新しい住民に行政区やサロンの告知
	近隣住民との関係性の構築（近くに相談する人がいない、隣近所や新しい住民との交流がない）	<ul style="list-style-type: none"> ●目が合ったらあいさつをしよう ●外国の方と交流できるイベントの企画及び場づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ●民生委員との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ●相談先をまとめ、配布 	あいさつ 隣近所への声かけ
生活環境	交通網の整備（買い物が困難、免許返納後の交通手段の不安、集会場が遠い）			<ul style="list-style-type: none"> ●コミュニティバス運行の充実 ●免許返納者へバスの利用券交付 ●買い物配達サービスの充実 	バスの本数を増やす バス時刻表の見直し
	生活環境の整備（空き家及び老朽化した建物の増加、街灯が少なく危険）		<ul style="list-style-type: none"> ●街灯の設置 ●歩行者道路の整備 ●空家をサロンや居場所づくりに活用 ●外国の方に基山での暮らしをまとめた冊子を作って配布 		インフラの整備